



みのわの里のきつねの嫁入り実行委員会 岡本優子さん

### 地域づくりのきっかけ

哲学者の内山節（たかし）さんの考えられた「命の発見」にとっても感動して、県のスタッフ塾に応募し、伊参スタジオの合宿に参加したりしていました。そんな折、自主企画事業として、映画「眠る男」の小栗監督が総合プロデューサーで「蚕影様物語」をやったのがきっかけです。

自宅では地域で一番位のお蚕を飼っていましたので、蚕影様物語も自分の話のような感じがしました。

たし、箕輪地区にきつねの嫁入りではありませんが、狐に騙されたというようなお話はありましたので、昔からあるお宅にはお稲荷さんがよく祭つてあるように、狐というのも地元にはとても身近な存在なのです。

そんな中、県で国民文化祭の基金を使って文化の芽を育てる事業を行うことになり、平成14年にぐんま文化の日が生まれ、「命の発見」昨日・今日・明日の子供たち」という大きな副題が与えられました。私は「昨日」の部分を受け持つことになり、ありきたりの事業

ではない「地元に戻りつつ新しい伝説の生まれる場所を作る」というテーマのもと、地元の伝説を次世代に受け継ぐ、「きつねの嫁入り」が始まりました。

### 多くの人を巻き込んで

「きつねの嫁入り」では、フォトコンテストも行っていて、表彰式を行ったり、多くの方がかわれる仕組みになっています。

今年10周年記念ということで、舞台も全く変わり、花火大会と重なるなど、大掛かりにやることになっています。非常に注目されているのと、群馬DCのお陰で集客も違うかなと思っています。

各アトラクションにかかわる人は合わせると400人以上になり、



た親子さんが、行列に参加しますし、健常者だけでなく車いすの方も参加されます。このイベントを機に、外から来た方も、地元に加わって楽しめるので、やっていて良かったなと思います。

### やりがいがあるから

代表をやっている苦労することはお芝居だけでも100人以上の人がかかわっている、人と人との調整が大変です。練習時間の調整もそうですが、上手くやっていくコツは、皆が自分たちの先祖がこうだったのではないかな、という思いでやっている事、それを子供達に受け継ぐという共通意識がある事、そして何より人の輪が広がって友達が増えるというやりがいがあることです。いろいろな人と自分の立場を踏まえて対応することで自分自身も成長できたと思いますし、結果的にそれが地域づくりになっていくという事だと思っています。

### これから

これからの展望は、「きつねの嫁



### 震災を経て

3月の震災後、最初はこのイベントも取りやめようという話がありました。しかし、元氣のあるところは元氣を出して行こうと、今回のイベントでは寄付箱を設置し、応援していきます。福島から避難されて来た、5歳の女の子を連れ

入り」を群馬県でも指折りの観光イベントにすることで、「蚕影様物語」は、箱物遺産ではなく、文化として受け継がれていくといいなと思っています。実際にお蚕を飼ってそこで汗を流して、涙を流した農民がいたわけで、まさに自分たちの祖先のお話のお芝居なのです。最近では、学校の行政区の区長さんにもかかわっていただくなど、子供達へのバトンが繋がっています。

### 大切な事は

下手でもなんでも、地元の人が舞台上上がり、観る側も知っている人なのでとても楽しいのです。地域の題材テーマで、地域の人が立ち上げて、地域の人が演じている。誰でも一人一人が主役になる。そういうのが地域づくりにつながるのかなと思っています。

### 尊敬する人

戦国武将、上泉伊勢守が大好きです。馬術、槍術、剣術等、すべての武術剣の達人でありながら、主人の箕輪の長野業正の助っ人に出るだけで、領地を広げるなど我から進んで戦に出ることはなかった不世出の剣聖。余分なことを言わず、男性の理想像です。

### 今年の嫁入りのお知らせ

高崎市箕郷支所・ふれあい公園にて  
9月25日(日) 11時00分〜20時00分

今年も場所も変わり、箕郷町の花火大会と同じ日になりました。皆さん、どうぞ足を運んで下さい！

WHO IS NEXT?

次にバトンが渡る人は誰でしょう?

次号をお楽しみに!!

ちょうど遊びに来た、お芝居に参加した小学生と。

## 「地域の伝説を未来へ受け継ぐために」

みのわの里のきつねの嫁入り実行委員会 岡本優子さん

地域づくり人物リレーは、県内で地域づくり活動をされている方を取材し、紹介して参ります。第10回目は、みのわの里のきつねの嫁入り実行委員会 岡本優子さんにお話を伺いました。

